

TOPICS

防災情報QRコード



防犯情報QRコード



クマ情報QRコード



市では、昨年の11月から災害の発生状況、避難情報を伝える「防災情報」や、犯罪の発生状況、注意喚起情報を伝える「防犯情報」などをメールでお知らせしています。ぜひ活用ください。



防災・防犯メールに登録を 2千人以上が利用中

【登録方法】次のアドレスに空メールを
 防災情報…nagaml.bousai@mpme.jp
 防犯情報…nagaml.bouhan@mpme.jp
 クマ情報…nagaml.kumaetc@mpme.jp

※登録は無料、パケット通信料は各自でご負担願います

今まで、長浜、米原、東浅井、伊香の各消防署で受信していた119番通報を、3月1日から湖北地域消防本部（長浜市）1か所で受信し、最寄りの消防署・出張所からより早い現場到着をめざします。管轄内には同じ地名のところがありますので、通報時には落着いて、正確な住所、番地、氏名を「ゆつくり」「はつきり」伝えてください。



湖北地域消防本部の
高機能消防指令センター

3月1日から 消防本部の通信司令が一本化 高機能消防司令センター完成



確かに、社会全体で取り組まないといけない問題ね。



でも家庭だけでは取り組めないこともあるよ。
 例えば、売っているものが過剰に包装していたら、そのつもりでなくても、 unnecessaryなものを持ち込んでしまうよね。

社会全体で取り組む



大切なのは自分の生活を振り返り、改善すべきところを工夫することだね。



そうね。そう考えると、環境のためだけでなく、生活の楽しみにつながるような気がするわ。それに、面倒と言っても、習慣にすれば自然とできるものですね。



そんなときは発想を変えてみたらどうだろう。
 例えば、 unnecessaryなものを買わないことは、家計の節約につながるよね。また、自分専用のカップを使ったり、何かを再利用してお気に入りのものを作ったりすれば、愛着がわき、趣味にもなるんじゃないかな。



そして、その仕組みを作っていくのが行政なんだろうね。すでに資源ごみの分別をはじめとした取り組みが進んでいるけど、さらに減量と分別を進めるためのルールづくりが



それと、いろいろな市民団体がごみ減量に取り組む、買い物袋持参運動やフリーマーケットなども活発に行われるようになってきたわね。



日本ではどうなの？

日本でも進んできているよ。メーカーはリサイクルできる商品積極的に製造するようにになったし、量販店でも買い物袋を持参することを推進し、一部では特典をつけるところも出てきたよ。



言うように、製品を造るメーカーや販売する量販店などは、過剰な包装をできるだけ避けるべきだし、行政もごみ減量が進む仕組みを作っていないといけないね。
 環境先進国と言われるドイツでは、環境への取り組みが進んでいて、法律で廃棄できるものが厳しく制限され、また当たり前のように買い物袋の持参や簡素な容器が使われているそうだよ。



必要だし、啓発や市民活動の支援、不用になったものをうまく生かす仕組みづくりなどが求められるね。



うちでも、まずは生活を振り返って、どう見直せるか話し合ってみようよ。

みなさんは、緑さん一家の話をどう感じましたか？

ごみは捨ててしまえば、みなさんの前からなくなります。でも、同時に資源としても失われていきます。

私たちは「もの」に囲まれて生活しています。これらは地球の資源からできていて、その資源がなくなれば、生活は大きく変わるようになります。ごみ減量は私たちの生活を支える基本的な営みであり、地球に暮らす最低限のルールです。

また「ものを大切に使う」視点で生活を見直すと、いろいろな価値観が見えてきます。

地球のことを考えるようになれば、身近な自然に関心を持ち、花を植えてみようと思つかも知れません。

古着を使つて娘とかばんを作り、お父さんと壊れたおもちゃを直せば、そのかばんやおもちゃは高額な商品よりも宝物になるかもしれません。

「ごみの減量＝生活を豊かにする」
 私たちが住む環境のことを考え、自分の生活を見直すきっかけとして、ごみ減量に取り組んでみませんか。



生涯学習栄誉市民・市民学芸員決定

『生涯学習栄誉市民』の称号は、生涯学習の推進に著しい業績のあった人（団体）に贈られます。今回の該当者は次の6人の方々です。

○橋本忠さん（南田附町）

ねりんピック静岡2006において、背泳ぎ男子25m60、64歳の部で準優勝をされるなど優秀な成績を修められた。

○長浜ユネスコ協会日本語教室講師団

平成8年4月から、10年にわたる、ボランティアで週2回日本語教室を開講し、これまでのべ1万人以上に指導を行ってきた。

○阿部秀彦さん（富田町）

富田人形共遊団員として30年余、国内外での公演や小中学校での鑑賞教室を実施し、地域に伝わる人形浄瑠璃を継承・発展させた。

○姉川合戦史蹟保存会（野村町）

平成3年の発足以来、姉川合戦場史跡公園内の除草・清掃とともに、姉川合戦の歴史を学び、史跡の保存活動が続いている。

○姉川古戦場古蹟保存会（三田町）

昭和51年の発足以来、姉川合戦場史跡公園内の除草・清掃と

ともに、姉川合戦の歴史を学び、史跡の保存活動が続いている。

○国友町歴史文化保存会（国友町）
 花火陣屋保存会・国友鉄砲研究部会・伝承踊り保存部会からなり、地域の歴史文化の顕彰と周知、伝承活動を行っている。

○市民学芸員

の称号は、長浜学で所定の単位を修得した人にその学習歴をたたえて贈られます。

ふれあいと自治会活動の充実

本庄町自治会が、（財）自治総合センターの宝くじ助成事業の採択を受け、コミュニケーション活動のための備品を整備されました。



各種アンテナと
放送器具一式など